



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取县国际交流财团

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鸟取国际通讯

No. 109

Mar. 2014



写真 エッフェル塔 【フランス/パリ】

Contents 目 录

- | | | | | | |
|--|-------|---|----|---|-------|
| 子どものための異文化理解体験講座
Children's Cultural Experience & Awareness Programs
以儿童为主的异文化理解体验讲座 | 02-03 | JICAデスクより
The JICA Desk
JICA办事处 | 05 | 英語版・中国語版ダイジェスト
Information in English and Chinese
英文版・中文版文摘 | 08-09 |
| 防災セミナー開催報告
Disaster Prevention Workshop
防灾研讨会举办报告 | 04 | 話してみよう韓国語開催報告
Korean Speech Contest
「挑战韩国语」举办报告 | 06 | 情報掲示板
Notice Board
信息布告栏 | 10 |
| 平成26年度第1期日本語クラス開講のお知らせ
First-Term 2014 Japanese Language Classes
第1期日语学习班开课通知 | 05 | 海外レポート
International Report
海外通讯 | 07 | | |

子どものための

小学校へ出前しました！



異文化理解体験講座

～9月から12月にかけて県内の小学校27校で実施～

外国出身の講師と触れあいながら、楽しく学ぶ「子どものための異文化理解体験講座」を今年も実施しました。講師は、出身地の文化や生活を写真や映像などでわかりやすく紹介。一緒に体験できる遊びやゲーム、歌などを通して交流しました。短い時間の中でも、子どもたちには多くの事を感じ、考える機会になったようです。

■ 講師について

財団に勤務する台湾、アメリカ、中国、モンゴル出身の職員や、県内の大学で勉強するアジアやアフリカ、ヨーロッパから来た留学生、その他地域に居住する様々な国の出身者が講師を務めます。講師はいずれも、母国を皆さんに紹介したい、子どもたちと交流をしたいという熱意を持った方々です。

■ 講座の実施について

実施にあたり学校と事前に打ち合わせを行い、対象児童の年齢や学習内容に応じたプログラムをご提案し、日程を調整します。講師およびプログラムの内容については、できるだけ各校のご希望に合わせて配慮しますが、ご希望に添えない場合もありますので、ご了解ください。



台湾のバンブーダンス
は三拍子



リズムに乗って
エチオピアのダンス！



ギニアの楽器ジェンベ。
いい音が出せたかな？



マトリョーシカ、いったい
どこまで小さくなるの～？



ベンガル語の文字。
漢字とどっちが難しいかな？



フランス語で元気にあいさつ
「Bonjour(ボンジュール)！」



オーストラリアは日本と季節が逆。
だからクリスマスは夏なんですよ!!

子どもたちの声



モンゴル人は羊の骨でおはじき、羊の毛で服を作っているのすごいと思うし、リサイクルが上手な人だと思いました。



一番びっくりしたのは、モンゴルでは3ヶ月、台湾では2ヶ月もの夏休みがあるということです。日本にもあったらいいなと思いました。



ギニアの太鼓に触れてうれしかった。講師の人はずっと叩いていて手が痛くならないかなあと思いました。



中国語のあいさつを教えてもらったので、中国へ行ったときに使いたいです。



エチオピアのダンスが楽しかったです。

Q.応募の理由は？

A.異文化への理解を深め、視野を広げることです

- 外国の人と直接触れ合い、交流を深める機会をもつことにより、児童の視野を広げ偏見や思い込みにとられることなく、同じ人間として外国の人々と接していこうとする態度を育てていきたいから。
- 外国の方とかかわる楽しさを感じることで、外国へ目を向けるきっかけにしたいと考えたから。

講座を
出前した学校に
お聞きしました

Q.講座での子どもたちの反応は？

A.実際に見て、聞いて、体験して、新しい発見もたくさんありました

- 講師の話や体験はどれも初めて聞くことや見ることで、非常に興味を持って参加していました。
- 話を聞くだけでなく、歌ったり体を動かしたり、ゲームやクイズに楽しんで参加でき、時間があっという間に過ぎたようです。
- 現地の小学校の生活を知り、子どもたちは自分の生活と比べながら、所変わればいろいろな文化や価値観があることが分かったと思います。
- 文化の違いを感じると同時に、日本との共通点にも気づいていました。
- 外国の文化を知ることで、日本の文化についても調べようという気持ちが高まったようです。

Q.講座で学んだことは？

A.学校の行事で発表したり、授業に関連づけたり、世界の色々なことに目を向ける意欲につながりたいです

- 社会科の学習で、鳥取県と世界がどのようにつながっているか、外国との交流や文化について理解を深めることに活用したいと思います。
- これを機に子供たちが外国に興味を持って、自ら調べたり、外国を近くに感じたりすることができるようになってほしいし、外国語活動にも生かしていきたいです。
- 日本のよさ、すばらしさを知り、“地球人”として生きていける人に育つよう指導していきたいです。
- 自分たちの身近なところにも外国から来た人が住んでおり、誰もが住みやすい町にしていくことが大事だという気づきにつながりたいです。

平成26年度も、小学校の授業時間内にこの講座を出前します。公募により決定した小学校と財団とで事前に打ち合わせをして、日程や講座の内容等を調整します。また、講座にかかる費用は当財団が負担します。是非、授業の一環としてご活用ください！募集は5月頃より開始する予定です。

国際交流センターで異文化体験!

鳥取空港国際会館1階にある国際交流センターは、財団本所が運営しています。センターには、世界の民族衣装、国旗、民芸品やおもちゃ、各国事情を紹介する書籍を多数展示しています。見て、触れて、遊んで、試着して、といろいろな体験ができます。また、保育園や学校からのご要望があれば、外国出身の職員による国際理解講座も開催しています。地域の国際交流事業などには、民族衣装や国旗、民芸品を貸し出すこともできます。お気軽にお問い合わせください。



▲ジェンズ(中国)



▶トウホ(韓国)



▲馬頭琴/モンゴル



▲シャガイ(おはじき)遊び/モンゴル



▲モンゴルのお話



▲民族衣装試着体験



▲ミニ中国語講座



▲民芸品を手にとって体験中

外国人の
ための

防災セミナー

を開催しました!



2011年に起こった東日本大震災は世界中に報道され、日本に住む外国出身者にも災害への危機意識が高まりました。財団にも県内の外国住民、特に、もともと災害の少ない国の出身者、日本語が不慣れなため地域との交流があまりなく、防災訓練等に参加したことがない人、来日間もない人など、災害や防災について知識を得る機会が持てなかった方々から、災害が起こった時はどうしたらよいのか、事前に準備できることは何か、災害情報を得る手段を知りたいなどの疑問、要望が寄せられました。

そこで、災害や防災について関心や基本的な知識を持ってもらうため、「地震が起こった時の初期行動」「避難場所の確認」「地域の防災無線」「自分の命は自分で守るための知識」「非常持出品や備蓄品」等について紹介する「防災セミナー」を開催しました。また、地域の防災訓練として米子市で実施された原子力防災訓練に、外国住民の参加を呼び掛けました。

日本語クラスで

【鳥取市】8月4日(日) 【米子市】9月22日(日)



▲非常持出品についての説明

JETプログラム参加者オリエンテーションで

【鳥取市】8月14日(水)



▲保温シートを体験



▲座学

JETプログラム 参加者とは?

政府が行う外国青年招致事業で来日した、小学校・中学校や高等学校で語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)、地域において国際交流活動に従事する国際交流員(CIR)及びスポーツを通じた国際交流活動に従事するスポーツ国際交流員(SEA)。

特に地震が起こった場合を中心として、過去に県内で起きた大地震について映像を交えながら紹介し、災害はいつ起こるかかわからないが、いざという時の心構えや日頃の備えが被害を最小限にすることを説明。地図を見ながら避難場所を確認したり、家具転倒防止品や非常持出品は実物を手にとって見てもらいました。

原子力防災訓練に参加

【米子市】11月10日(日)

中国電力島根原発の事故を想定して、発電所から30キロ圏内にある鳥取・島根両県内の各市で大規模な防災訓練が行われました。今回は、県や市が、緊急時に外国住民に避難を促す際にどのように対応したらよいかを検証するために、財団から米子市周辺の外国住民に参加・協力を呼び掛けました。また、災害情報の提供を多言語で行う場合の体制についても検証する目的で、通訳者(英語と中国語)が配置されました。



▲防災無線による避難指示を聞いて河崎公民館に集合しました



▲スクリーニング体験(放射線量検査)

防災エコクッキング

【鳥取市】
2月11日(火・祝)

災害時にライフライン(水道、電気、ガス)が止まった場合に備えて、自宅に保存しておくよい備蓄食品の紹介と、その食品を使って、なるべく水や熱量を使わない調理法を紹介しました。調理をする食材はお米やパスタ、缶詰、また、保存が利く野菜やお菓子を用意しました。熱源はカセット式簡易ガスコンロを想定して、調理をしました。



▲食材をポリ袋に入れて煮るので、ポリ袋の空気を抜くことが肝心



▲カレーピラフ、トマトスパゲッティ、焼き鳥じゃが、ポテトサラダが完成!

防災座談会

【米子市】
2月13日(木)



財団米子事務所では、在住中華圏出身の方々が集まって気軽におしゃべりをする茶話会を不定期に開いています。今回は米子市役所防災安全課職員の方から参加者の防災についての疑問に答えてもらいました。また、災害や防災の取り組みなどの各国の違いに話が弾みました。

今後も引き続き、防災についての意識が高まるよう、災害や防災の具体的な知識や災害時での行動等についてセミナーを開催します。来年度は更に、セミナーで得た知識を役立てるよう、実際の行動に結びつく訓練となる体験型ワークショップや、外国住民も周りの人々と助け合って地域を守る活動ができるよう、地域と連携をした防災訓練などの実施に取り組んでいきます。

第1期 日本語クラス 開講のお知らせ

受講料 **無料**

県内在住の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を楽しく学べるクラスです。講師と日本語ボランティアが協力して学習をサポートします。お知り合いの、また近くにお住まいの外国出身者の方々に是非ご紹介ください。

※クラスによって別途テキスト代が必要
 問合せ：鳥取県国際交流財団 各事務所
 (連絡先は最後のページをご覧ください)

		日 時		会 場	
東 部 (本 所)	4/6~8/3 (計18回)	日曜日	0クラス (基礎導入)	10:00~11:00	財団本所 (鳥取市湖山町西4-110-5)
			A①クラス (基礎)	11:00~12:30	
			A②クラス (基礎)	13:00~14:30	ざざんか会館、または 高齢者福祉センター内会議室 (鳥取市富安2-104)
			B①クラス (初級会話)		
			B②クラス (生活漢字)		
Cクラス (中級)	14:40~16:10				
中 部 (倉吉事務所) ※予定ですので、日程や内容は 変更する場合があります	4/16~7/16 (計13回) ※5/7はお休みです	水曜日	水曜日クラス	13:30~15:00	鳥取県中部総合事務所別館「会議室」、 「相談室1,2」 (倉吉市東蔵城町2)
	4/20~7/13 (計12回) ※5/4はお休みです	日曜日	日曜日クラス	13:30~15:00	倉吉体育文化会館「教養室」 (倉吉市山根529-2)
西 部 (米子事務所) ※会場の詳細はお問い合わせください	4/13~7/27 (計14回) ※5/4, 5/25はお休みです	日曜日	初級クラス	10:15~11:45	米子コンベンションセンター (米子市末広町294) 米子市文化ホール (米子市末広町293)
			中級クラス		

日本語ボランティアとして支援していただける方も随時募集しています。関心をお持ちの方は、お気軽に各事務所にお問合せください。
 (クラスで学習者と同じテーブルにつき、補助的な説明や会話練習の相手役をお願いしています。)

JICAデスクよりお知らせ

12名の鳥取県出身者が活躍中!

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア

★ **モロッコ**
 森田 義雄さん
 (PCインストラクター)
 皆さんも協力隊を
 経験されてはいかが
 がでしょうか?

★ **エチオピア**
 毛利 みゆきさん
 (理数科教師)
 ▶サイエンスショー
 竹信 宏一さん (電気・電子機器)

★ **モンゴル**
 宮本 晶夫さん
 (上下水道)
 ▶旧正月にモンゴル
 の友人宅で
 (右端が宮本さん)

★ **キルギス**
 中村 寛さん
 (村落開発普及員)
 -30℃の寒さに負け
 ず、キルギスの人々
 の役に立てるように
 日々活動しています。

★ **セネガル**
 渡邊 優美子さん
 (小学校教諭)

★ **ケニア**
 吉田 蔵宏さん
 (野菜栽培)
 ▶ケニア人と智頭町から
 届いたお米と私

★ **ホンジュラス**
 小寺 智丈さん
 (電気・電子設備)
 ▶どうつなげた?
 さあ、電気を点けてみよう

★ **ブルキナファソ**
 山田 真裕美さん
 (稲作栽培)

★ **ルワンダ**
 中曾 拓人さん
 (理数科教師)

★ **マラウイ**
 上野 友也さん
 (理学療法士)
 経験は人を育てます。
 全力で任期を全うします。
 ▶カウンターパート(同僚)と

★ **エクアドル**
 谷口 晃親さん
 (水泳)
 日焼けをしながら暑さに
 負けず頑張ってます!
 ▶初指導

JICAボランティア 平成26年度春募集 体験談&説明会

日時 4月12日(土) 13:00~15:00

会場 とりぎん文化会館 第2会議室

今年もJICAボランティア春の募集(平成26年4月1日から5月12日)に伴い「体験談&説明会」を開催します。応募方法の説明やボランティア経験者による活動紹介、個別相談にも対応します。応募はまだだけど興味・関心があるという方も大歓迎です。是非、気軽にお越しください。

予約不要
 参加費無料
 入退室自由

活動写真パネル展も2014年4月8日(火)~4月22日(火)まで開催! 会場:とりぎん文化会館 フリースペース

お問い合わせ **jica** 独立行政法人 国際協力機構 鳥取県JICAデスク TEL:0857-31-5951 (浅野)
 【鳥取県国際交流財団本所内】 E-mail: jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp